

[ゴルフ誌 ワグネル] うまくなならない人ほど 「思い込み」が強すぎる!

Waggle

2008 OCT
No.217
10月号
定価600円



頭は動かす? 動かさない?

体重は右? 左?

スタンスは狭く? 広く?

須藤元気もやってる!
コースで恥をかかない
ラウンド前練習法

わかる! スミスが
どっちが正しい?
一発解決!

サンドの56度と58度、使えるのはどっち?

どう直す? 傾斜からの「逆球」

アスリートのための山岳コース攻略のヒント

ジュニアステップ アッププログラムとは？

ジュニアゴルファーの「安(安心・安全・安価)・近(生活の近くに)・楽(楽しく続けられる)」を実現するべく、JGRAによって作られた、日本で唯一の「ジュニアゴルファー検定制度」で、05年に第1回目が実施された。はじめは関東の練習場に試験的に導入され、改良されながら、現在は約20の練習場で実施し、約40の練習場が準備中だ。

趣旨

自分の打席できちんと練習できる、などの初歩的な15級から、通常のティからボギーペースでラウンドできる技術のある1級までの段階があり、実技だけではなく、道具や歴史、マナー、ルールなどゴルフに必要なあらゆる知識を習得するためのペーパーテストも行われる。年に2回、トーナメント会場で行うほか、加盟練習場にて随時実施している。

内容



▲検定では、バンカーの均し方や目土、グリーンフォークの使い方なども基準に



▲検定当日、ペーパーテストを受けるジュニア。予想以上に1問1問真剣に考え答えるという



社)全日本ゴルフ練習場連盟専務理事兼ジュニア育成委員会委員長 横山雅也氏

そんななか、99年に日本ゴルフ協会、日本ゴルフツアー機構など関連10団体によって「日本ジュニアゴルフ育成協議会」(以下JGC)が創設された。強いトップジュニアを育てるための活動ではなく、「ゴルフをツールとした子どもたちの健全育成」を目的とし、スナッグゴルフの普及やジュニア料金の設定、短期スクールを開催するなど、各団体がさまざまな活動を試みてきた。しかし、「努力はしているがまだまだ各団体が丸と丸になって取り組むという状態にはいたっていません」と語るのは、加盟団体のひとつ全日本ゴルフ



▲検定制度やいまの環境について月に1回話し合うJGRAジュニア育成委員会のメンバー。30代から40代の若手を中心だ

か積極的になれないという現実も背景にある。そこで立ち上がったのがJGRAジュニア育成委員会のメンバー。「ゴルフをはじめ子どもにとっていちばん身近な練習場が、門戸を広げないと」と、試行錯誤の末、検定方式による「ジュニアステップアッププログラム」を完成させた。過去7000人のジュニアが受検、「目標があるとやる気も出るし、エチケット・マナーの重要性を認識するようになりました」と、手こたえを感じている。ただ、指導者や練習場スタッフの手間がかかるという難点もあり、全国的な普及にはまだ至っていない。きちんとした教育制度のないゴルフ界初の試みにより、子どもにとってのゴルフがもっと身近なスポーツになることを期待したい。

「トップジュニアの育成だけが目標ではなく、社会力のあるジュニアゴルファーを育てたい」

か積極的になれないという現実も背景にある。

ジュニア ゴルファーをもつ 親の声

- 家族みんなで練習できる
- 一生趣味として続けられるスポーツを子どもがもてたことが素晴らしい
- あいさつや礼儀などの大切さに親が改めて気づいた
- 検定制度は子どもの上達していく過程が級でわかるので安心感がある
- ひとクラスの生徒が多すぎて指導が行き届いていない
- コーチを選べない



あいさつ、思いやり、
協調性、身だしなみ……

08夏
ジュニア
ゴルファー
事情

ゴルフを通じて ライフスキルを身につけよう！

大人だって、技術以外にゴルフから
学ぶことは大きい。

そのゴルフの魅力を子どもに伝えようと、活動している団体がある。



ゴルフに
まつわる
"Hot"
な
話題を紹介



This
Month

TOPICS

アンケート調査からみたジュニアゴルフ事情

※出典 (社)スポーツ健康産業団体連合会「スポーツ産業による子どものスポーツ人口拡大に関する調査研究」(平成20年度3月)より

※調査方法 民間スポーツクラブ、スクールや地域のスポーツクラブに通う子ども(幼稚園児から小学生)の保護者を対象に、依頼先(事業所)から手渡して配布し郵送回収したもの。

子どもをスポーツ教室やクラブに入会させた目的(%)

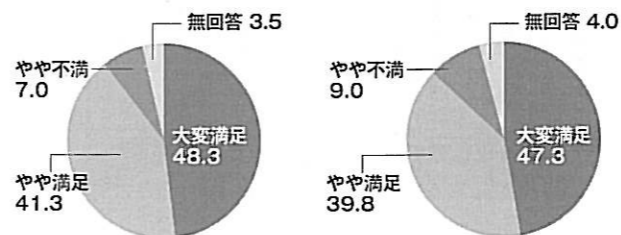
	カラダを鍛える	技術の習得	精神を鍛える	団体生活・行動の習得	礼儀作法の習得	健康づくり	スポーツ好きにする	友だちを作る	運動神経を養う
ゴルフ	33.3	44.3	31.3	10.9	46.3	10.4	16.9	10.0	5.5
水泳	64.7	31.1	21.0	13.2	6.6	36.5	16.2	9.0	19.2
サッカー	40.8	67.7	20.8	16.9	9.2	4.6	12.3	20.8	13.1
野球	48.5	24.6	39.2	43.3	32.7	13.5	7.0	25.7	8.2
運動不足解消	10.0	11.4	7.5	8.0	1.0	0.0	10.4	2.0	0.0
試合・大会への出場	0.0	0.0	3.6	0.0	10.8	6.0	7.8	0.0	0.0
遊びとして	2.3	3.1	6.2	16.2	1.5	0.0	4.6	2.0	0.0
トップアスリート志願	7.0	1.8	2.9	2.3	0.6	0.0	9.4	1.0	0.0

スポーツクラブや教室への交通手段

	徒歩	自転車	自家用車	路線バス	電車	スクール・クラブバス	その他	無回答
ゴルフ	13.4	11.4	73.6	1.5	1.0	0.0	1.0	1.5
水泳	13.8	40.7	38.3	3.0	7.2	7.8	0.0	0.6
サッカー	3.8	25.4	57.7	5.4	21.5	0.8	0.0	0.8
野球	24.6	31.0	52.6	0.6	0.0	0.6	0.0	0.6

ゴルフ教室やスクールの指導者に対して(%)

技術面での指導に対する満足度 礼儀やマナーの指導に対する満足度



礼儀作法を習得できると注目されるゴルフ

の問題はあるが、技術以外に社会生活に必要な礼儀やマナーも重点的に習得できるという、ほかのスポーツにない魅力もある。事実、ジュニアゴルファーをもつ親の半数は技術と同時に礼儀作法を習得させたいと考えており、指導者に対しても礼儀やマナーの指導を期待する声も多いようだ。